

平成28年度当初予算 一般会計90億 5500万円

選択と集中 !!



平成28年度は、第5次総合振興計画をもとに、地方創生に係る小川町版総合戦略をはじめ、都市計画マスタープラン・地域公共交通網形成計画等の重要な計画がスタートする大事な年です。一方で、超がつく少子高齢社会を背景に、例年になく厳しい予算編成となりました。非拡大・非成長の中で、何を「選択」し、どのように「集中」したのか。ここでは、当初予算の重点事業 ①地方創生の推進 ②安全・安心なくらしから、「地方創生」の項目をピックアップ。議会が指摘・注目した事業をお知らせします。

安全・安心なくらし

※関連質疑は次ページから

- ・衛星系防災行政無線の再整備
- ・指定避難所に備蓄する物資の購入
- ・町立保育園に防災用食料品を備蓄
- ・パトリアの非常用蓄電池を交換
- ・橋梁の点検・耐震化
- ・道路照明灯の点検
- ・ため池の耐震点検ほか



結婚・出産・子育ての支援

- ・小学校就学支援助成金
- ・第3子以降の小中学生の給食費無償化
- ・多子世帯保育料軽減事業費
- ・子育て支援アプリで情報を配信
- ・民間保育所の増築費用を補助
- ・子育て世帯に電動自転車の貸与
- ・住民税相当額の奨学金返済額を免除ほか



雇用の創出

- ・企業誘致の推進
- ・小川和紙の生業支援
- ・小川町元気な農業応援ほか



人口誘導・定住促進

- ・移住サポートセンターの設置
- ・お見合い大作戦ほか



地方創生

まちづくり・地域活性化

- ・ユネスコ和紙ブランド推進連携事業
- ・健康長寿ウォーキング
- ・いきいきタクシー券の配付
- ・地域公共交通活性化協議会の負担金
- ・比企地域人の流れ創生事業ほか



Heisei 28th Initial budget

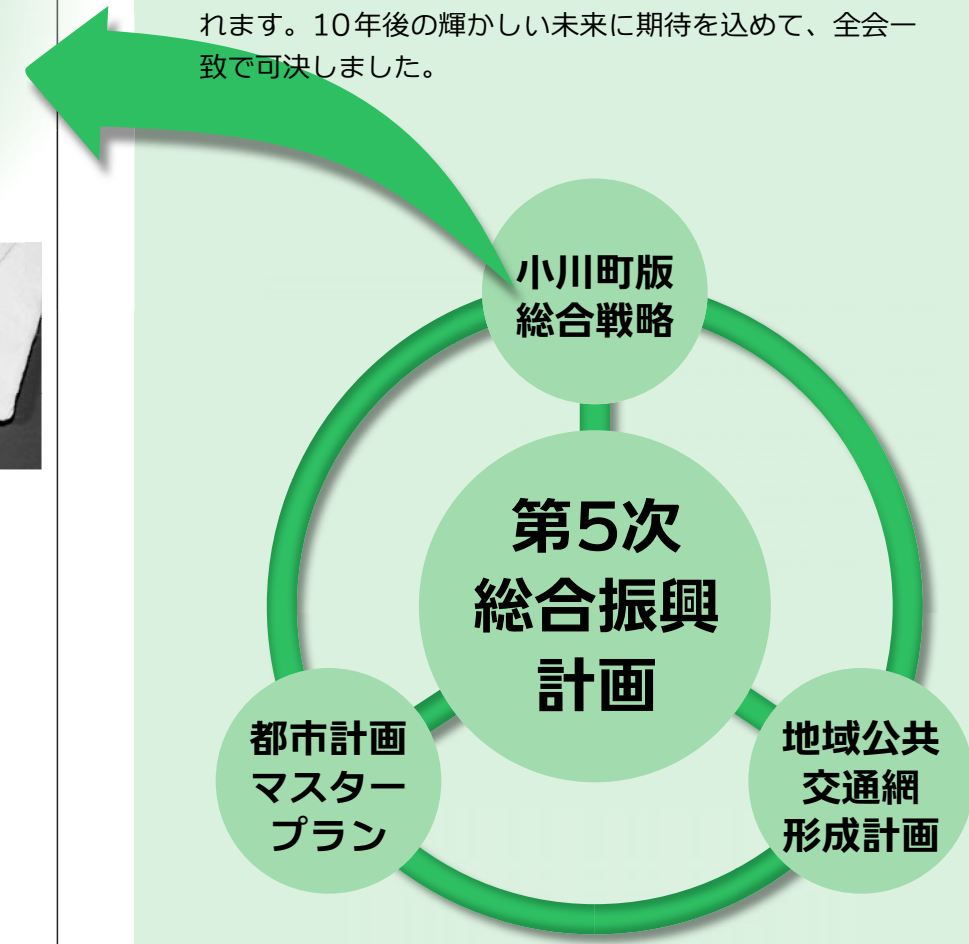
第5次総合振興計画 基本構想 決定!

将来像

自然の恵みと文化を未来につなぐ 人が輝くまち おがわ



去る2月16日に開催された第1回臨時会において、今後10カ年のまちづくりの指針となる第5次総合振興計画の基本構想を決定しました。最上位に位置づけられる総合振興計画に基づき、基本構想を具現化するための前後期各5カ年からなる基本計画や各分野の実施計画が策定されます。10年後の輝かしい未来に期待を込めて、全会一致で可決しました。



結婚・出産・子育て
Q 引き続き支給される小学校就学支援助成金だが、平成27年度の実績と新年度での取り組みは。
A 平成27年度は就学児健康診断に合わせて案内し、9割方支給済みです。新年度は時期を早める等、検討しています。

人口誘導・定住促進
Q 先進的である子育て世帯電動自転車の貸し出しとは。
A 2〜3人乗り用のものを5台購入し、未就学児のいる家庭に有料で貸し出します。事故等の対応については補正予算で保険加入を予定しています。

雇用の創出
Q 機構改革を経て、にぎわい創出課内に企業支援に特化したグループができる。雇用の創出という観点では、さらなる企業誘致に対する取り組みを期待するところだが。
A 新たに旅費等を計上し、今までは受け身だった姿勢・体制から、できる限り企業を訪問する形で、現状と情報の把握に努めます。

まちづくり・地域活性化
Q 和紙のブランド化を計画しているようだが。
A 関係者と協力して商品開発に挑みます。また、島根県浜田市・岐阜県美濃市と和紙サミットを計画しており、平成29年度に当町での開催(東秩父村との合同)を調整中です。

雇用の創出
Q 機構改革を経て、にぎわい創出課内に企業支援に特化したグループができる。雇用の創出という観点では、さらなる企業誘致に対する取り組みを期待するところだが。
A 新たに旅費等を計上し、今までは受け身だった姿勢・体制から、できる限り企業を訪問する形で、現状と情報の把握に努めます。

解説 プロポーザル方式 1

業務の委託先(業者)を選定するときに、企画を提案してもらい、その中から優れた提案をした者を選定する方式。